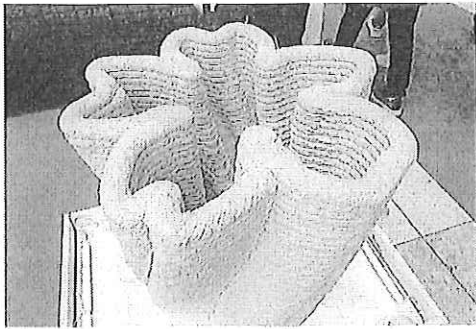


# 會澤高压が3DP出展

## ロボデックス 圧倒的な施工速度

第3回ロボデックス・ロボット開発活用展(主催・リードエグジビションジャパン)が1月16日から19日まで、東京ビッグサイトで開催された。同展には220社が出展し、最新の産業ロボットやサービスロボットをはじめ、ロボット開発・製造に必要な技術や製品などを一堂に展示した。

コンクリート製品関連では、會澤高压コンクリート(本社、北海道苫小牧市若草町三ー四、社長■會澤祥弘氏)が、3Dコンクリートプリンターの技術を紹介した。會澤高压コンクリートは昨年、オランダから3Dコンクリートプリンターを導入。国内の使用環境



3Dプリンターで造形したオブジェ

に最適なモルタルの配合やコントロールについて検討を進める一方、インドをはじめとする新興国市場への3Dコンクリートプリンターへの導入を念頭に、高精度で合理的な積層造形の実現に向けた技術開発を進めている。

会場では3Dプリンターで造形したオブジェを展示。また大型LEDビジョンを使い、型枠を使わずに美しい曲線を作り上げていく3Dコンクリートプリンターの圧倒的な施工スピード感や、3Dプリンターが施工する近未来の建設現場を美しい映像で紹介し、3Dコンクリートプリンティングという世界の最前線で技術開

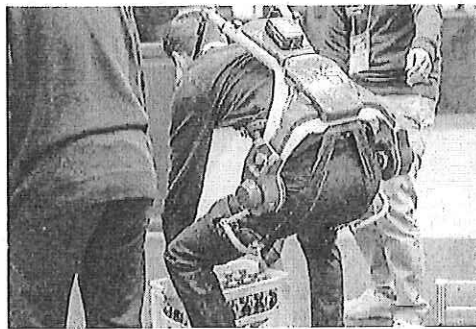


近未来の建設現場を映像で紹介

発に取り組み同社の姿を来場者に伝えた。

同社によるとミキサに検討を加えた結果、モルタル詰りなどを起こさずスムーズに大型の造形ができるレベルに到達。高さ2・6m程度の曲線形状の壁が50分程度で積層できるといふ。当面は展示用オブジェや荷重があまりかからない構造物などへの適用を目指す一方、造形物の強度の検証や技術研究を進める考え。繊維補強コンクリートで強度の向上を図ることや、埋設型枠としての活用も視野に入れている。

この他にも会場には様々な大きさや用途のロボットが並び、深刻な人手不足対策としてロボットに対する期待が高いことを印象付けた。またアシストスーツの展示も目立った。アシストスーツのブ



会場ではアシストスーツの展示も目立った

番待ちをするほどの人気で、実際にビルケースを持ち上げるなどしてパワースーツの効果を確認した。アシストスーツはバッテリー

式が主流だが、中にはダイドー(大阪府)が出展した「TASIK AR1・0」のように、腕をある程度の高さまで上げるとガスの反力が働いて腕の負荷が軽減され、長時間の向上き作業が可能になる電力不要の製品もあった。

## 主力のバイル 出荷が大幅増加

トヨーアサノ、第3四半期トヨーアサノの2019年2月期第3四半期は、売上高127億2200万円(前年同期比7・4%増)、営業利益12億3300万円(同71・8%増)、経常利益11億9200円(同76・8%増)で、四半期純利益は7億7500万円(同88・5%増)だった。コンクリート二次製品事業で、主力のコンクリートパイプ部門の出荷が関東・静岡・山梨などで大幅に増加した。

コンクリート二次製品事業の売上高は58億6400万円(前年同期比16・2%増)、営業利益7億7500万円(同21・7%増)。コンクリートセグメント事業は、売上高12億9200万円(同39・5%減)、営業損失200万円(前年同期は7200万円の利益)だった。

## 第25回宅地擁壁技術講習会開催

宅地擁壁技術協会

全国宅地擁壁技術協会(会長■永吉哲郎氏)は3月13日、10時からアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)で第25回宅地擁壁技術講習会を開催する。

【プログラム】▽10時「開会挨拶」(永吉哲郎会長)▽10時5分〜11時5分「宅地防災に関わる最近の話題(仮題)」(国土交通省都市局都市安全課企画専門官・安藤詳平氏)▽11時10分〜12時10分「建築基準法令について(仮題)」(国土交通省住宅局建築指導課構造認定係長・中村聡宏氏)▽13時10分〜14時10分「擁壁の基礎構造と地盤改良(ベターリビングつくば建築試験研究センター)上席参与・二木幹夫氏)▽14時15分〜15時15分「国難をもたらす巨大災害への対応」(土木学会専務理事・塚田幸広氏)。参加希望者は協会ウェブサイトで申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXまたはメールで申し込む。参加費5000円(テキスト代込)。定員150名(先着順)。

申込みは全国宅地擁壁技術協会 電話03(5294)1481、FAX03(5294)1483、Eメール(akiyama@takkyou.or.jp)